

関音訳の会しあん（朗読ボランティア）を紹介します

◆ 照会先

福祉政策課

☎ ②7735



◆ 「声の広報」の誕生

関音訳の会しあんは、視覚障がい者のために、広報せきや社協など、数種類の刊行物を朗読し、録音したテープを作っている市内在住者で構成されたボランティア団体。昭和53年に「関朗読奉仕会」として誕生し活動を開始。独自で研修などを行いながら、現在約30人の会員が活動しています。

目の不自由な方にまちの情報を届けたいと、30年以上にわたり毎月欠かすことなく「広報せき」を朗読し、録音テープの作成を担っている皆さんがあります。声の広報の活動に携わっている音訳ボランティア「関音訳の会しあん」をご紹介します。

◆ 声の広報ができるまで

- 1 広報紙の原稿（ゲラ刷り）が届く
広報課から、関音訳の会しあんへ。
- 2 黙読
わかくさ・プラザ「学習情報館・視聴覚室」に集合し、まず一度広報せきを黙読みします。
- 3 読み合わせ
4～5人一組により読み合わせし、読み方に誤りがないかどうか確認します。
- 4 収録（テープに吹き込む）
毎号、90分テープに半日から一日かけて録音作業します。視聴覚室だけでなく、自宅で作業することもあります。
- 5 チェック
録音のスピード、音が途切れているところはないか、音声が悪くなっているのかを確認します。
- 6 ダビング
専用の機器を稼働させ、25人分のテープを複製します。
- 7 専用ケースで発送
利用者は、聞き終わったら、ケースに付いている宛名を裏返してポストへ投函すれば返送できる仕組みとなっています。

◆ 楽しく作業

発足当時から会員である30年以上のベテランの方から入会4～5年目の方まで、さまざまの方ができることができる範囲で行っています。発足当初は、専門的な知識や技術もない、まさに「からのスタート」でした。始めは緊張して声を出すのが精一杯で、後で朗読したテープを聞いて、自分の声が恥ずかしいと感じることもあったそうです。しかし、どの方もできる範囲のことを頑張っていました。



◆朗読の工夫・・【広報せき平成23年8月1日号】

表紙の写真は、富岡保育園で園児がプールで水遊びしている写真です。プールの中をぐるぐる歩いて水の流れを作っています。暑い中、水を浴びてみんな笑顔で「気持ちいいね」と言っているようです。子どもたちの笑顔は、見ているこちらにも元気を与えてくれます。



◆社会奉仕のきっかけ

会員の皆さんには、家族や親戚に障がいのある方がいたり、本を読むことが好きでボランティアを始めたなど、それぞれのきっかけで関音訳の会しあんに参加しました。毎年開催されている点訳ボランティア「六ツ星会」や視覚障がい者団体の意見交換会など、実際に、利用者の皆さんからの感謝の言葉が、継続の大きな力となっています。

◆努力を欠かさない

会員の皆さんには、朗読技術向上のため、NHKなどを参考に読み方のアクセント、発音のルールを勉強しています。定期的に研修会なども行っています。また、日々から新聞を音読したり、声を出すように努めたりするなど、努力を欠かしません。録音テープを聞いて、より聞きとりやすいものをと反省することしばしば…。

◆得るもののが大きい・やりがい
録音テープを利用している方から、このテープを聞くようになつてから世界が広がつたという言葉も聞かれます。「毎月楽しみにしている」「まちの情報が分かり、たいへんありがたい」「皆さ

当日はマイクに向かうと緊張し、力が入るといいます。それはマイクの向こうでこのテープを持っている人がいるという気持ちがそうさせるのかもしません。朗読する声にも自然と熱が入ります。

◆苦労や悩み

録音は、失敗もあって何度も取り直しすることもあります。視覚障がいの方は、耳が敏感であり雑音を入れないよう、周りの音に注意するよう心掛けています。

また、会員の数が減少していることや、高齢化が大きな悩みです。会員は専業主婦だけでなく、仕事を持っている方も多く、時間を割いている現状です。若い世代の方に仲間にもなつてほしいと願っています。

◆朗読の工夫

ただ原稿を読むだけではなく、いかにわかりやすく伝えるか、聴き手のことを常に考えながら収録に臨みます。写真は、被写体の表情や周囲の情景を説明するなどして、耳で聞いて理解し、思い浮かぶように工夫しています。わかりにくい単語にも、説明を加えることがあります。

◆ぎふチャンラジオ放送
「ヒーリングバー・モード」
関市の時間
◇放送日・時間 毎月第1・第3水曜日 午前9時40分~
◆岐阜エフエムラジオ放送
「モーニングバード シティイン フォメーション」

一方的に送っているだけでなく感謝していることを素直に嬉しいと思うとともに、自分たちが元気に、温かい気持ちになれることがあります。ひとり暮らしの方は、ひとり暮らしの方は、テープの返信により安否確認できることもメリットの一ひとつと考えています。

声の続く限り活動を続けたいと、会員一同思っています。
多くの「」利用を
田の不自由な方で、このテープ

◎「声の広報」テープをご利用ください

声の広報の朗読テープを希望される方は、福祉政策課（☎②773-5）までご連絡ください。

◎ラジオ放送をご存じですか

市のイベント案内などをお知らせするラジオ放送を行っています。毎回の放送内容を毎月の広報せきのお知らせページに掲載しています。

◆ぎふチャンラジオ放送

「ヒーリングバー・モード」

関市の時間

◇放送日・時間 每月第1・第3水

◆岐阜エフエムラジオ放送

「モーニングバード シティイン

フォメーション」

◇放送日・時間 每週金曜日 午前9時~

◎広報せきはホームページでもご覧になります

市ホームページに「広報せき」のPDF版、e-book版を掲載しています。

市を離れてしまっても、懐かしいまちの情報をご覧いただけます。少し前の広報紙を見たい場合にも、さかのぼって確認することができます。

◆朗読技術に終わりなし

将来、障がいのある方だけでなく、高齢者や施設に入所している方など利用者の範囲を広げることも検討する必要があると思います。また、従来のテープ（アナログ）から最近のデジタル機器での利用など、時代の変化に即した使い方を考えることも重要です。

さらに、朗読技術の向上を目指すなど課題も多くありますが、情報の提供者として利用者の皆さんに元気な声を届けていきます。

たらと思います。

ついで、より分かりやすく親しみいただいている「広報せき」について、より分かりやすく親しみやすい紙面づくりの参考とするため、皆さんの意見をメール

（koho@ci.ty.seki.lg.jp）にてお

寄せください。